

# 甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No.21  
2005 MAY

甲南Today No.21

2005年5月20日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)



TRY with KONAN ● あなたとつくる、新たなキャンパスムーブメント

## 外国語のその先へ

研究室訪問

ファミリー企業の経営

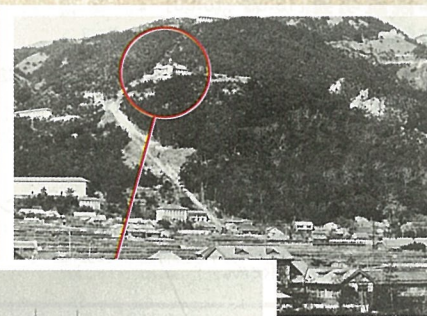
低迷する日本の経済を、“ワンマン経営”が救う!?



「恩賜の杖」(鳩杖はとつえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生汎三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

近くて遠いは甲南裏山／昔はあみだ山といわれたとか／椎・樫・椿・ウバメガシ／昼なお暗い照葉樹林／あそこに母校がとれる目印／けれどもきみは登ったかい？／下水からはいったが五メートルで挫折／いくらなんでも急勾配／山を巻く道を辿れば「にらくそ」の木札／行く手遮る鉄条網／跡地を畑を耕す番のおばさん／これぞ「二楽荘」／西本願寺大谷光瑞師の命名で／須磨月見山の別邸を明治帝に望まれ／甲南の地に新居をトす／海と山とをつながら楽しむ意／インドふうの大建築／大谷西域探検隊の文化遺産を収め／学者・皇族・華族の訪問しきり／上り下りはケーブルカー／さらに武庫中学を併設／だが寿命は長くなかった／一九〇九年完成／一六六年久原財閥の手に／三年不審火で全焼／別世界ゆえ消防車到達不能／甲南学園にこの話もあった／実現すれば毎日急坂／遅刻が続出ることにならないか／だが甲南との縁は続く／旧大谷中学の事務室が甲南の講堂／学園誕生の記念物は敗戦後まで残ってた／甲南生だった法主もおられる／今も山上に五重塔／中腹にはすさのお神社／何がなし聖なる感じがあるか／さて探検隊の財宝は？／寄付先の大連、ソウルに健在とか。



▲初期の甲南生にとって思い出多い二楽荘

中井久夫先生



神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>

鳩杖





## CONTENTS

### WHAT'S NEW KONAN

- 文部科学省の「私立大学学術研究高度化推進事業」に2事業が採択
- 甲南大学会計高等教育研究所開設記念シンポジウム開催
- 阪神・淡路大震災10周年記念行事開催
- 平成17年度新任教員紹介
- 平成16年度退任教員紹介
- 平成17年度大学役職者一覧
- ナノバイオテクノロジーの研究拠点、FIBER棟(14号館)が竣工
- 就職活動最前線

### TRY with KONAN ● あなたとつくる、新たなキャンパスムーブメント

## 外国語のその先へ

### 研究室訪問

#### ファミリー企業の経営

## 低迷する日本の経済を、 “ワンマン経営”が救う!?

意志と団結力で進む、甲南生の自治活動

### 発進! MY PROJECT

## この街に、元気な声を増やしてやろう!

### ハガキで寄せられた疑問を徹底調査 ◆こちら甲南特捜部

## いまの生協食堂は昔とどんなふうになりましたか

創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ

### クラブつながリレーション

- 体育会剣道部
- 文化会人文地理学研究会

### Pick up 高・中Topics

#### 海外提携校クラブ交流

## ニュージーランド高校生と ゴルフ部生が現地で熱戦!

トゥレーヌ甲南学園だより

## フランスならではの研修旅行 —ひと味違う、豊かな体験—

### 第一線で活躍中の卒業生にアクセス! ◆IT'S KONAN STYLE

## 「未来のため、過去に目を向けよ」 マオリの言葉は、甲南に通じる。

### 甲南フォーラム



● 表紙の絵



西井 義晃 画「8号館」

西井 義晃さんプロフィール  
1961年 甲南大学経済学部卒業  
元自由美術会員

● 西井 義晃個展 2005年9月7日(水)~13日(火)  
大阪高島屋6階美術画廊

次のURLで作品集をご覧くださいませ  
<http://webgarou.net>

## 文部科学省の「私立大学学術研究 高度化推進事業」に2事業が採択

### 1 ナノ構造システムにおける 量子相関の研究

研究代表者・安藤弘明理工学部教授

学外の幅広い人材を受け入れたり、研究成果などを広く公開するなど、オープンな体制の下で行われるプロジェクトの実施に必要な研究施設・研究装置・設備の整備に対し、重点的かつ総合的支援を行う「オープン・リサーチ・センター整備事業」として採択され、事業採択に伴い、量子ナノテクノロジー研究所が4月1日に設置されました。

### ●量子ナノテクノロジー研究所

ナノ構造の複合体(システム)において量子相関によりもたらされる新たな量子効果を探索する。「ナノ構造システムの量子制御の研究」「ナノ構造システムの光学応答の研究」「ナノ配位の制御と機能創成の研究」を3本の柱として、量子相関を利用した新機能を提案し、実証することを目標としています。

### 2 地域経済クラスター創造に 向けての社会連携研究

研究代表者・中田善啓経営学部教授

実用性の高い又は萌芽的な研究について、地方自治体や地場産業など地域社会との有機的な連携の下に行

われ、研究成果が地域社会への振興に対する共同研究プロジェクトの実施に必要な研究施設・研究装置・設備に対し、重点的かつ総合的支援を行う「社会連携研究推進事業」として採択され、産学の研究拠点として、ビジネス・イノベーション研究所が4月1日に設置されました。

### ●ビジネス・イノベーション研究所

本大学を中心として、企業、NPO、関係団体及び国内外の研究機関との共同研究を通じて地域密着型ビジネスモデルの開発などを目的として設立され、地域経済との活性化に寄与していきます。

## 阪神・淡路大震災 10周年記念行事開催



献花される「遺族

未曾有の災害をもたらした大震災から早くも10年。甲南大学では今後も震災の経験を過去の出来事とするのではなく、未来へつなげていくために、節目となる2005年1月17日(月)に「阪神・淡路大震災10周年記念行事」を甲友会館において開催しました。第一部では池上理事長、杉村学長、藤野健次学生自治会中央委員会委員長、ご遺族の代表田中享氏が挨拶。第二部では「復興から希望へ」震災を生き延びる



森 茂起 文学部教授

ということ」をテーマに人間科学研究所長の森茂起文学部教授が、「心」を見つめる自身の研究分野を紐解きつつ、記念講演を行いました。

## 甲南大学会計高等教育研究所 開設記念シンポジウム開催

平成18年度の会計大学院開設予定に先立ち、去る2005年1月29日(土)「甲南大学会計高等教育研究所開設記念シンポジウム」が甲友会館にて執り行われました。国際化時代における会計大学院とはどうあるべきかという命題の下、「会計プロフェッショナルに対する役割期待」をテーマとして設定。金融庁総務企画局企業開示参事官の池田唯一氏による基調講演にはじまり、会計業界に精通したパネリストたちによるディスカッションが行われました。甲南大学では今後、ここで議論された内容を踏まえ、国際社会に求められる会計大学院開設を目指してまいります。



パネリスト(左より)  
●池田 唯一氏  
●武田 隆二氏  
神戸大学名誉教授  
●藤沼 亜起氏  
日本公認会計士協会会長  
●水野 正人氏  
ミズノ株式会社  
代表取締役社長





渡辺 敦 教授  
理工学部情報システム工学科

4年間の短い期間でしたが、先生方にも職員の方々にも大変お世話になりながら、無事にすごさせていただきました。有難うございました。40年ぶりの関西の生活を大いに楽しみました。復興著しいこの美しい街神戸で、甲南大学が和気あふれる中にも厳しさのある伝統を受け継ぎながら、ますます発展することを心から祈ります。



堀口 至朗 教授  
理工学部物理学科

私が助手に任用していただいた昭和39年には、東京オリンピックが開催され、東海道新幹線が開業しました。その後昭和45年には、大阪で日本万国博覧会が開催され、東名高速道路、名神高速道路が相次いで開通しました。この日本の高度成長時代の幕開けから、甲南大学で学び、個性豊かな学生諸君と共にレーザーの実験をしてまいりました。充実した41年間でした。ありがとうございました。



八亀 師勝 教授  
文学部日本語日本文学科

38年間（前任大学での10年を含む）の教員生活を全力で駆けぬけてきましたが、気力・体力の限界を痛感し、定年より2年早く退職しました。いまは、ゆったりとした時間の流れに身を委ね、至福の境地を生きています。半年か1年後には、アニミズムの勉強と書道の稽古を始めるつもりです。甲南のご発展を祈ります。

長い間、  
ありがとうございました。  
【平成16年度退任教員紹介】  
長年にわたってご指導くださいました7名の先生方が3月に退任されました。各先生方から甲友の皆さまへのメッセージをご紹介します。



白杉 剛 教授  
経済学部

着任後40年余りの在職でしたが、おほかで、自由闊達な学問的雰囲気の中で、教育、研究に打ち込むことができましたことを大変幸せに思っています。支えていただいた同僚の先生方、事務職の方々、そして最後にしかし最小にではなく、ともに学んでくれた学生、卒業生の諸君に心からお礼を言いたいと思います。長い間ありがとうございました。今後の大学のご発展を祈ります。



大西 匡輔 教諭  
高等学校・中学校

四半世紀を甲南で過ごさせていただいたことになります。いま思い返しますと、いろいろと迷惑をかけ、また多くの方々のお世話になりました。この場をお借りしてお詫びとお礼を申し上げたいと思います。有難うございました。最後になりますが、甲南のますますの発展をこころより祈念いたしております。



小林 清晃 教授  
経済学部

快適な教育・研究活動に従事できたことは大きな幸せでした。お世話になった全教職員の方々と私の授業で勉学された卒業生や現学生諸君に厚くお礼申し上げます。数年前から、居住地近隣の国有地の一部を利用して花壇を作り、そのケアをボランティアしています。生あるもの、いつかは土に還るので、植物を愛でつつ土に親しむ生活を続けていきます。甲南大学から多くの優れた人材や研究成果が生まれることを念じます。



根本 則明 特任教授  
経営学部

瑞々しい精神と未来への可能性を持った学生の皆さんと、共に学べる機会を持ったことをまず感謝しております。また消費者行動や広告の信頼性などについての研究に携われたことも、大きな喜びでした。退職後も、非常勤講師の仕事をする予定ですが、特に研究活動は生涯の仕事として続けていきたいと願っています。



文学部  
田中 貴子 教授  
専門分野／日本文学

学生の皆さんとともに、日本文学の面白さを勉強していきたいと思っています。



文学部  
廣川 晶輝 助教授  
専門分野／日本近代文学

学生諸君が実りある学生生活を送ることができ、その手助けをしたと思っています。



理工学部  
新田 直也 講師  
専門分野／ソフトウェア科学

教育・研究を通して、広く社会に貢献できよう頑張ります。



法学部  
島田 茂 教授  
専門分野／行政法

学生の皆さんに法学の面白さを少しでも理解してもらえよう頑張りたいと思います。



高等学校・中学校  
吉田 和史 教諭

甲南学園という素晴らしい学び舎で、生徒たちの知と徳と体を育んでいきたいと思っています。

# 甲南の新しい学びを生み出す 11の智性が今春より教壇へ

## 【平成17年度新任教員紹介】

専門教育分野の学びをより手厚くサポートしていくため、この春より、新たに11名の先生方が各学部で教鞭を執られることとなりました。いずれの先生方も、新入生に負けず劣らず、新しいスタートに対してやる気十分。その熱意とパワーをもって、甲南のさらなる伝統と実績を築き上げていきます。



理工学部  
渡辺 洋平 講師  
専門分野／生化学

学生の皆さんと研究の楽しさを共有できればと思っています。



文学部  
星 敦士 講師  
専門分野／社会学

知的好奇心を持つことの楽しさを学生の皆さんと共有していきたいと思えます。



経済学部  
森 剛志 講師  
専門分野／所得分配・統計学

研究、教育ともども頑張ります。よろしくをお願いします。



経済学部  
後藤 勸 講師  
専門分野／医療経済学・社会保険論

教育・研究両面で精一杯努力していきます。よろしくをお願いします。



法学部  
岡森 識晃 講師  
専門分野／行政法・環境法

教育、研究に日々努力していきたいと思っております。



法学部  
住田 英穂 助教授  
専門分野／民法

夢に向かってチャレンジする気持ちを大切にしたいと思えます。



# ナノバイオテクノロジーの研究拠点、FIBER棟(14号館)が竣工。

2005年3月、先端生命工学研究所(※1)の専門研究棟・FIBER棟が竣工。ナノテクノロジー(※2)とバイオテクノロジーを融合した新しい研究ステージにアプローチする体制が整いました。

FIBER棟は、地下1階、地上4階の総5階建。1～3階を占める研究・実験ゾーンには、研究の核となるナノテクノロジー、バイオテクノロジー、インフォメーションテクノロジーの3分野の最先端の設備が配されており、文部科学省の採択を受けた「学術フロンティア事業」(有用な人工生命分子創製のためのテラメード・バイオケミストリー)や兵庫県COEプログラムの実施をはじめ、メディカルサイエンス研究機構や民間企業と連携した産官学の共同研究の拠点として大きな期待が寄せられています。

また、研究・実験ゾーンを挟む上下のフロアにはセミナーや会議などのスペースもあり、FIBER主催のシンポジウムやフォーラムの開催が予定されています。



※1 先端生命工学研究所  
生命・健康・環境・材料の4領域を束ねて「ひと」を科学することをテーマに、生命分子工学の分野における先端的な研究・教育の拠点として2003年11月に設立された。通称FIBER(ファイバー)。  
FIBER=Frontier Institute for Biomolecular Engineering Research

※2 ナノテクノロジー  
ナノは10億分の1を表す単位。1ナノメートルはDNA(左図)の半径に相当する。ナノテクノロジーとは、この極めて小さな分子や原子を自由に操る「超微細技術」のことをいう。



FIBER棟のシンボルである、二重らせん構造を模したDNAのモニュメント。地下1階から4階まで貫くこの巨大なモニュメントはDNAの構造を精密に表現したモデルとして、世界にも他に類をみないものだという。

## 特徴的な研究設備

4F レクチャールーム、会議室

3F 研究室・実験室

2F 研究室・実験室

1F 研究室・実験室

B1 会議室、応接スペース

ナノレベルの化学の視点から、新たな化合物を創製(合成)する方法を研究している。写真は、化合物の合成時に使った溶液を除去し、化合物を取り出す「溶媒除去装置」。



## バイオテクノロジー (BT)



ナノテクノロジーで創られた化合物(例えばセンサー)を細胞の中に移して、生物の立場からその効果やメカニズムを研究している。写真は多数の細胞を一度に解析できる「細胞解析装置」。

## インフォメーションテクノロジー (IT)

ナノテクノロジーやバイオテクノロジーで創出した分子同士の結合エネルギーなどをデータベース化する。写真は、分子間の相互作用(結合)をリアルタイムで測定・解析できる「生体分子相互作用解析装置」。



## 杉本直己所長 FIBERの未来を語る



前を通りかかった小学生が二重らせんのモニュメントを見て、「あ、DNAだ!」と言ってくれたと聞き、嬉しかったと話す杉本所長。

FIBER棟は、ナノテクノロジーとバイオテクノロジーを融合したナノバイオテクノロジーの研究拠点ですが、これには3つの意味がこめられています。

一つは甲南大学のユニークな取り組みを示すシンボルとして。二つ目は、世界でもトップレベルのナノテクノロジーとバイオテクノロジーの実力をもつ関西の企業や公共の研究所を結ぶ、産官学の研究拠点としての意味合い。そして三番目が、ナノバイオという新しいステージでのグローバルな研究拠点としての位置づけです。

近年、ナノテクノロジーとバイオテクノロジーを融合させる試みが、ようやく世界各国でも立ち上げられようとしています。2003年にいち早く先端生命工学研究所を設立した甲南大学は、この分野では他を一步リードしていると言っていでしょう。文部科学省の「学術フロンティア事業」に選ばれ、FIBER棟が完成し、研究体制が整ったいま、甲南からナノバイオテクノロジーの世界標準となる研究成果を発信するのも夢ではないと思います。

## 就職活動最前線

### 東京地区の就職支援！ 企業研究会開催

キャリアセンターでは2005年3月7日(月)・8日(火)の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにて3年次生を対象とする就職セミナー「企業研究講座 in TOKYO」を開催。男25名・女12名計37名の学生が参加しました。1日目は元アナウンサーのいわみちえこ氏による「面接マナー講座」にはじまり、企業で採用経験のあるプロを前に模擬面接に挑む「面接実践講習会」を実施。講習終了後は30人を超える甲南卒業生との交流会が設けられ、貴重なアドバイスを受けました。また2日目は東京で甲南大生を積極的に採用する予定の企業18社を招いて企業説明会が行われ、1社あたり40～50分のローテーション方式で学生が企業のブースを回りました。「自分の弱点がはつきりわかった」「業界に対してのイメージが変わった」など参加学生にとって実り多い2日間となったようです。



伊豫田隆俊キャリアセンター所長による挨拶

### 4年次生が後輩の就職活動を支援する 「甲南OBF」を結成！



甲南OBF代表 前澤 力さん  
経営学部経営学科4年次

就職活動は多くの人と出会う中で、自身を再発見し、売り込んでいくことに積極的に取り組まなければなりません。それは環境が何より重要です。キャリアセンターの方々には環境という最高の機会を与えていただきましたが、中でも東京セミナーをきっかけに成長する自分を実感できたのは非常に大きな収穫でした。しかしながら若手のOB・OGの方が少なく先輩のお話を聞く機会が少なかったのも事実です。ならば僕たちが道を創ろう！僕たちが学生の目線ですういった環境を提供し、良き甲南の伝統として繋いで行こう！こういった思いが集まり就職支援サークル「甲南OBF」(就活Of the students By the students For the studentsの略)を結成するに至りました。就職活動で外に出ると改めて甲南の良さに気づき、「甲南に入ってよかった」と何度も実感したものです。3回生の皆さん！熱意のこもった素晴らしい環境を用意しますので、甲南生という誇りを胸に就職活動というステージで大いに成長し活躍してください。一緒に夢を実現させる第一歩を踏み出しましょう！



# 外国語の その先へ

To The Next

国際人の育成に力を注ぐ甲南大学では、  
外国語教育に独自のカリキュラムを設けています。  
言語ではなく、文化を学ぶことを目的とした  
「国際理解」の授業がコース必修科目として  
設けられているのもその一例です。  
甲南の外国語教育を紹介する  
今回の特集ではまず、この特徴的な授業を  
ドキュメントレポート。その現場から  
甲南ならではの外国語教育の姿勢を  
紐解いていきます。



学を経験した学生たちは皆口々に「世界に  
触れて、日本のことをもっと知りたく  
なった」という。世界を理解すること、  
自分自身のアイデンティティを理解する  
ことは切っても切れない関係にあるよう  
だ。ロス先生の授業では、これから世界を  
学ぶ学生に、まずその国際理解の本質を  
伝えようとしている。

簡単に理解できないから、  
強い関心を持ってほしい

「世界の国々を理解することは、難しい」。  
授業中、先生は学生にこう語りかける。  
「私は日本に20年住んできたいまでも、  
理解できない許せないことがあるんです。  
それは例えば通勤電車の中でのこと。ど  
うして隣のおじさんは、人の肩に頭を乗  
せて眠るのでしょうか。教室はドッと笑  
い声。しかし、そんなジョークのようなエ  
ピソードからも、先生は国際理解の本質  
を語る。私たちからすれば、たかがそれ



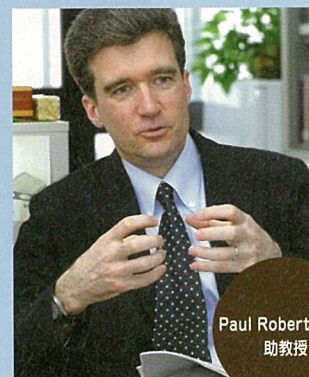
だけのこと。しかし、先生の育った文化圏  
ではそれはあり得ないことなのだ。そし  
て20年日本に住むロス先生でさえ、その  
溝をいまだに感じているのだ。国際理解  
は、場合によってはどれだけのめり込んで  
研究しても、「本当に理解することができ  
ない」こともある。

「だからこそ、私たち教員の役割は、一  
面的な知識を教えるよりも、この90分の  
講義によってどれだけ国際理解に強い関  
心を持たせてあげられるか、広い入口を  
つくってあげら



れるかが大切  
なのだと思  
います。そう  
いへば、ロス先生  
以外の先生方  
が担当する国  
際理解の授業も  
そうした組み立  
てが見える。藤  
原先生によるド  
イツ文化の授業で  
は、歴史的なベル  
リンの壁崩壊にポ  
イントを絞った講  
義が行われた。単に

国際理解は、自分を理解  
することからはじまる!?



Paul Robert Ross  
助教授

「あなた方は日本人と聞いて、どんな  
言葉を連想しますか。私が合図するまで、  
できるだけたくさん言葉を手元の用  
紙に書き出してみてください」。国際理  
解の授業中のこと。ロス先生は、教室の学  
生たちに、突然そんな課題を出した。不  
思議そうな顔をしながら、用紙に向かう  
学生たち。それも無理のないことだろう。  
国際理解の授業は、世界の文化について  
理解を深めることを目的としている。前  
期は、担当する国の違う先生たちが持ち  
回りで教鞭を執るが、今日の担当は、英  
語教育を受け持つロス先生。学生たちは  
当然、英語圏の人々や文化についての講  
義を聞くつもりで集まっている。それが出  
された課題はなぜか、「日本人」について  
の印象。そこには一体どういう狙いがある  
のだろうか。

学生が書き終えた後、ロス先生はその  
メモを読み上げる。「勤勉」「真面目」「仕  
事熱心」という印象が多いね。「働き蜂」  
という答えもあったな。これらはどうも、  
みなさん共通の日本人像のようですね。  
「Yes」という答えも多い。でもどうして  
日本語でもなく、カタカナの「シャイ」で  
もなく、英語で「shy」と書くんだろう」  
ロス先生はそれらをとても淡々と、とき

歴史を追うだけでなく、ネオナチのグル  
ープの若者のインターネット映像などが流  
され、ドイツという国に関心を持つにつ  
けとなる題材が用意されていた。



本当のコミュニケーションは  
相手を理解して成り立つ

ロス先生は語る。「私たちは、別のクラ  
スでは各国の言語を学生たちに教えてい

## 外国語の先へ 踏み出した受講生

経済学部経済学科3年次  
柏木 彩也さん



関係なかった世界の  
問題が“自分の問題”  
になりました。

私は2年次に国際理解の授業を履修しました。この  
授業を受けて驚いたのは、ただ先生の話聞くだけ  
でなく、最後に各自が感想や意見を言うようにマイク  
が回ってくることです。友達同士で国際問題につ  
いて話すことなどなかったもので、これは刺激的。例えば  
EUについての講義の後「アジア圏でAUはできない  
のか」という意見も、同世代でそんなことを考える人  
がいるのかとドキッとしました。そんな授業を受けるう  
ち、いままでも関係ないと思っていた世界各国の問題  
を自分のこととして考えるようになりましたね。とくに  
関心のあるドイツについては、夏休みに海外語学研  
修にも参加し、さらに理解を深めています。ただ知れ  
ば知るほど、また知りたいことが出てくるので、今後は  
1年間の長期留学も計画しています。

どきジョークも交えながら読み上げる。  
先生にとっては、それが正解で、それが間  
違いというわけでもないようだ。  
授業後、ロス先生にその狙いを尋ねて  
みた。先生、どうして国際理解の授業で  
わざわざ「日本人」の印象を取り上げた  
のですか。「国際理解」というと海外の文  
化や歴史を学ぶことだと思われがちで  
すが、実は、私はそれだけではないと思っ  
ているんですよ。海外のことを知る前に、  
学生たちはまず自分自身の国や民族につ  
いて知らなければならぬ。自分たち日  
本人は、何が得意で何が下手なのか。ど  
んな歴史を持っているか。海外からどんな  
目で見られているのか。また自分たち自  
身はそのことをどう認識しているのか。  
そういう自分自身のアイデンティティに  
関することを知らなければ、海外の人々  
を計る尺度がないわけですから、国際理  
解などといういい絵空事と、私は思ってい  
るのです」。

確かに、いま連日ニュースで報道される  
近隣諸国との緊張した関係についても、  
それは言えるかも知れない。日本人の過  
去の歴史についてきちんと理解した上で  
なければ、彼らの行動を推し量ることは  
できないだろう。また、海外留



ます。その授業の中ではコミュニケーションの  
楽しさを伝え、いかに相手に気持ち  
を伝えられるか、相手のメッセージを読み  
とれるかというスキルを教えます。しか  
し、言葉だけをいかに巧みに使いこなせて  
も、相手の文化や背景を理解しなければ、  
本当のコミュニケーションはできないん  
です。そして、今日の授業でもおわりの  
通り、国際理解の本質を学ぶことは、そ  
れほど簡単ではないのです。この授業で  
それを伝えていけることは、学生の成長  
にとって、とても大切なことだと思います。  
よく国際人と言われるが、それはす  
でに、海外に出ていく人をさす言葉ではな  
い。国内の外国人も増え、情報が地球規  
模でやりとりされる現在、日本にいる  
誰もが国際人としての感覚を身につけな  
ければならない。甲南大学では、語学教  
育だけでなく、こうした異文化理解のク  
ラスを並行して開講し、従来の外国語教  
育を超えた国際人育成を目指しているが、  
その意味はこれからますます大きくなっ  
ていくのだろう。



## 甲南が育む「国際人」とは!?

誰もが国際人であるべきこれからの時代。  
しかし、甲南が考える国際人とは具体的にどんな人を言うのでしょうか。  
国際言語文化センター所長の原田先生に尋ねました。

国際人とは、外国語を話す人と誤解されることも多いのですが、私たちの考えは違います。第一に、「異文化を理解し、異なる価値観を持つ人と共に生きていく意思を持っていること」。第二に、「自分自身のアイデンティティが確立していること」。そして第三として「異文化の人たちと相互理解を図れるスキルを身につけていること」。これらをすべて兼ね備えた人を、国際人と考えています。言葉の習得はあくまで、そのうちの二つなのです。

年間、世界11大学へ長期留学することも可能です。「外国語科目」で「コミュニケーションスキルを身につけ、「国際言語文化科目」で異文化と自分を理解する。この二つの学びを両輪に、私たちは本物の国際人を育成を進めています。

また、とくに日本人の場合、暗黙の了解

両輪となる  
カリキュラムで、  
国際人を  
育成する

### 外国語科目

英語  
ドイツ語  
フランス語  
中国語  
韓国語

### 国際言語文化科目

国際文化コース  
国際コミュニケーションコース  
ドイツ語・フランス語・中国語・  
韓国語インテンシブコース  
英語インテンシブコース

こうした力を育むために、甲南では外国語教育のカリキュラムを、「外国語科目」「国際言語文化科目」という大きく二つの分野に分けています。「外国語科目」では、「読む」「書く」「聞く」「話す」を総合的に学習し、コミュニケーションの基礎を確実に身につけることを狙います。「国際言語文化科目」では英語および第二外国語の運用能力はもとより、目標外国語圏の文化を学び、その中で世界や自分に対する理解を深めていくことを目的としています。前述の「国際理解」も、この科目に属する授業です。また力月間海外の提携大学で語学を学ぶ「海外語学講座」もその一つ。海外で実際に他国の人たちに触れながら学ぶ経験は、異文化の理解や自国の文化の見直しにつながると考えています。ここで興味を持った人については、さらに一

とか、以心伝心とか、積極的に話さないことを美德にする文化がありますから、いかに自分から発信していく姿勢を身につけるかも大切ですね。私自身が受け持っている「日本語教授法実習」では外国人に日本語を教える教員としてのスキルを身につけますが、その授業の中でもとにかく積極的にプレゼンテーションを行ってもらいます。自分の考えることを前に出てきて発表させ、お互いにその良かったところ、悪かったところを評価し合う。こうした経験を繰り返すことで、学生はどんどん自分を表現するのがうまくなつていきます。ほかの授業でも同様の機会を積極的に設けているんですよ。

一方、国際化が進む現在では、身につけた

コミュニケーションスキルをどこでどんなふうに運用するかも多様化してきました。国際言語文化センターでもニーズに合わせたサポートを意識しています。企業の採用・評価に有利に働くように、TOEIC、TOEFLや検定講座をサポートしていますし、社会人の生涯学習ニーズに応えられるよう「社会人講座」なども開講しています(次ページ参照)。

「世界に通用する人材たれ」とは平生先生が遺された言葉ですが、地球規模で物事を考えることが必要な今こそ、誰もが国際人であるべきです。学生の皆さんも卒業生の皆さんも、国際言語文化センターの講座に参加し、本物の国際人としての力を育んでいきましょう。



国際言語文化センター  
所長 原田 登美

英語が話せるだけではない。  
他者を理解し、  
自分を発信できる力が不可欠です。

# Let's try!

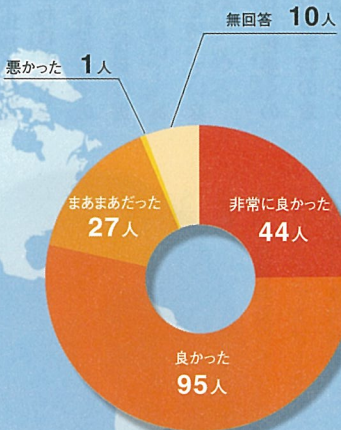
あなたと一緒に、国際人を目指しませんか。

## 昨年度夏期社会人講座に参加された社会人の声

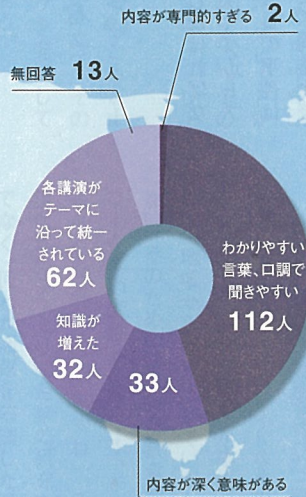
### 夏期 社会人 講座

国際言語文化センターでは、毎年夏休みに高校生以上を対象とした社会人講座を開講しています。今年度は「異文化理解への道」をテーマに、各国の文化をわかりやすくお伝えしますので、ぜひご参加ください。詳しくはP23をご覧ください。

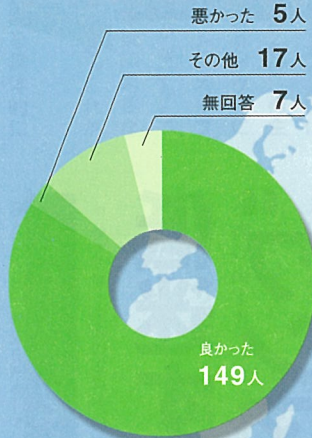
Q 講座の内容は、全体としていかがでしたか。



Q 講座の内容について具体的にはいかがでしたか。



Q 講座は一日で4講演でしたが、いかがでしたでしょうか。



お寄せ  
いただいた声、  
次回へのご要望

- このような講義の回数増をお願いします。(65才・男性)(31才・女性)(63才・男性)ほか
- いつも時代が問題にしている現実的なテーマを選びレクチャーしていただけるので感謝している。今後も期待しているのでよろしく。(79才・男性)
- 高齢化社会では、このような機会に良いテーマが与えられ、向上心がわく。(中略)ぜひ有料でもいいですからもう少し機会を多くして、文化の発信基地となり、高齢者の卒業生がまた輪を広げられるようお願いします。教授陣頑張ってください。(65才・男性)
- 定年近い者ですが、再度大学で学びたい気持ちが出てまいりました。大変ありがたいございました。来年もよろしく願っています。(57才・男性)
- いろいろ考えていただきありがとうございます。講座なので聞くことがほとんどですが、何かグループで話をするような機会があればいいですね。(女性)
- イスラム社会、アラブ社会についての講義があったらいいと思う。(69才・女性)

### 外国語学習相談アワー

学生の外国語学習を手助けする「外国語学習相談アワー」を開設しています。授業の内容をより深く理解するために、卒業後の進路を見据えてどんな学習をするべきか、あるいは留学などの相談に活用してください。

【時間】昼休み

【場所】6号館5階各言語学習指導室

### 海外語学講座

夏休みを利用して、約1カ月間、アメリカ、イギリス、カナダ、ドイツ、フランス、中国、韓国にある協定大学で外国語を集中的に学習する機会を設けています。参加者は目標言語圏でコミュニケーションの道具としての外国語を集中的に学習するだけでなく、実際のコミュニケーションに際して重要な役割を果たす習慣やしぐさの違い、さらに文化による価値観の違いなども体験します。

### マルチメディア自習室

学生のためにマルチメディア自習室を開設しています。授業の予習や復習、さらに自己学習に積極的に活用してください。

【場所】6号館3階

【開室期間】授業開講期間中

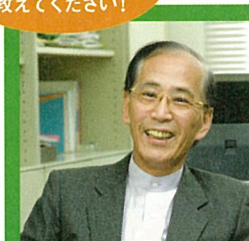
【開室時間】月～金曜日 午前9時～午後4時

土曜日 午前9時～正午

【設備】ブリスデスク10台、富士通デスクトップパソコン、DVD/ビデオCDプレイヤー、MD・CDコンピレーションデッキ、カセットプリンター、レーザープリンター各1台



先生、知の最前線を  
教えてください！



## 研究室訪問

### 同族企業のネガティブな イメージは二面に過ぎない

本来は一般に正しく情報公開しなければならぬはずの株式の名義を詐称し、グループ内で保有していたコド、堤前会長の事件は皆さんもよくご存じのことだろう。同族企業の閉鎖性がクローズアップされた事件だった。この例にも見られるように、同族企業の経営には、何かと問題が多いように思われている。ワンマン社長が権限を振りかざし、社員はその顔色をうかがうイエスマン。しかも役員は世襲で社員のモチベーションが上がらない…。あなたもそんなネガティブな印象を持っているだろうか。

しかし、経営コンサルタントとして数多くの企業経営を診断してこられた経営学科の倉科教授は、その認識に待ったをかける。「そのイメージは実に一面的な理解にすぎない。ウソだと思ふなら、海外に目を向けてもらうといい。例えばイタリアが1990年代に遂げた“奇跡の復興”。不況からいち早く経営を立て直して雇用を創出し、この復興を支えた企業を分析してみると、その多くが実は“ファミリー企業”（※）だったという結果が出ています。ここではむしろ彼らはヒーローなんですよ」。

倉科教授によれば、これは何もイタリアに限った例ではないと言う。「経営学上では、同族経営の企業を“ファミリー企業”という独自の形態として認識し、分析を行っています。そこには専門経営者企業にはない明らかな強みが存在するんですよ」。私たちの認識では、何かとネガティブな印象ばかりが先立つが、本当に教授のいう強みはあるのだろうか。あるとすれば、それはどういうものだろう。

### リーダーシップと長期的視野 いま企業に必要な強みがある

「マイナスと言われる点も、裏返せば、実は強み。例えば『ワンマン経営』です。ファミリー企業の社長は独断的な判断を行うため、企業の進路を誤ると危惧されますが、実はこれ、強いリーダーシップを発揮できる環境でもあるのです。何かの意思決定を下すときに、経営責任者全員のコンセンサスをとるため一日中会議ばかりしている企業がありますが、スピードが求められる時代にこれでは勝ち抜けない。その点意思決定機関が集約されているファミリー企業は行動が早いわけです」

ゼネコンに同族企業が多いのも、もともと土木建築の分野は業務ごとに棟梁を立て、その強い求心力のもとでチームワークを発揮してきたという歴史があるからだと言う。

「それから長期的視野を持っているということ。例えば、専門経営者企業はサラリーマン社長なら、今期どれだけ利益を生めるかを第一に考えて行動しますよね。成績が悪ければ、株主も離れるでしょうし、そうなれば自分がクビになるかもしれませんから当然です。ところがファミリー企業の経営者はその心配がないから、短期的には赤字でも、3年後5年後に大きな利益を生むような最適な手が打てる。これがもう一つの強みなんです」

なるほど。確かにファミリー企業を具体的に

今回のテーマ…ファミリー企業の経営

# 低迷する日本の経済を、 “ワンマン経営”が救う!?



分析してみると、経営システムとして独自の強さを持っていると言えそう。こうした研究が進めば、今後はポジティブな意味でファミリー企業に注目が集まるかも知れない。

### 地域に貢献したいという 意識が経済再生のカギ

しかし、倉科教授はそこに釘を刺す。「いや、これからファミリー企業が注目される本当の理由は、企業体質の強さだけではない。彼らが非常に強く地域貢献意識を持っていることが重要だと私は考えています。例えば、地元のファミリー企業である辰馬本家酒造。創業330年もの老舗ですが、図書館や学校を設置するなど、ずっと昔から地域に貢献されています。これは損得勘定ではありません。自分が長年生きてきた地域だからこそ、何かできることを、という感情で企業が動くんですよ」。

いま日本の経済は、東京への一極集中。「しかしそれで本当に経済はよくなるのでしょうか」と倉科教授。「日本経済が本当の好転を図るには、地域から盛り上げていかなければならない。そのためには地域貢献意識の強いファミリー企業の活躍が必要です。イタリアの歴史もそれを裏付けていますね」。そこで倉科教授は単にファミリー企業の研究を進めるだけでなく、何とか活躍を応援したいと現在、ファミリー企業のデータベースを作成中。これを充実させ、将来的にはベストファミリービジネス賞をつくり、支援していくことも計画されているという。日本がこの長い、長い不況から抜け出すきっかけ。それはファミリー企業の活躍という、かつて議論されてこなかった新たな視点の中にあるのかも知れない。

※ファミリー企業の定義は、同族企業と完全にイコールではなく、「重要な経営ポジションに」族が就任しているか、候補に挙がっている、または、資産形成の目的ではなく義務として「族で株式を所有している」といった企業を指す。

### 倉科先生って、どんな人ですか？

ゼミ生に  
聞きました



経営コンサルタントだった  
先生の話はとてもリアル！

経営学部経営学科 3年次  
萩原 加奈子さん

昨年まで経営コンサルタントをされていて、企業経営の現場に詳しい先生の授業は、一つ一つの話がすごくリアルで説得力があります。私の家は父が喫茶店のチェーンを経営していて、まさにファミリービジネスなので、先生から教わることが自分の将来を左右するかも知れないと思って真剣に聞いています。



時間をオーバーするくらい  
熱っぽく講義されます。

経営学部経営学科 3年次  
大垣 真紗子さん

1年前友だちの受けている授業に潜り込んだとき、面白い講義をされる先生がいると思ったのですが、実はそれが倉科先生でした。だからゼミ選びのとき、迷わず先生のゼミを選びました。先生の説明は具体的で、詳しく、熱っぽくて、面白い。そんな先生だけにチャイムが鳴っても授業が終わらないこともあります（笑）。



先生は発想がユニーク。  
いつも授業が楽しみです。

経営学部経営学科 3年次  
近田 裕一さん

倉科先生の授業には、いろんな教え方の工夫があって面白い。この前はゼミのメンバーを中央の席から二つに分けて「左はファミリービジネス賛成派。右は反対派」と決め、ディベートがスタート。勝った方にはチョコの賞品付きです。結果ですか？先生自身が賛成派なので、もちろん僕たち賛成派が勝ちましたよ（笑）。



ファミリー企業の  
経営学  
東洋経済新報社  
1,800円（税込）

### 経営学部経営学科 倉科 敏材 教授

’67年慶応大学法学部卒業。同年（株）東芝入社後、三菱総合研究所経営コンサルティング部長を経て、’93年富士総合研究所入社。’97年同社理事、’01年同社上席理事。’04年より、甲南大学経営学部特任教授就任。『企業家型管理者の自己革新』（産業能率大学出版部）、『ファミリー企業の経営学』（東洋経済新報社）など著書多数





1.17甲南メモリアル 川嶋あいゲリラライブ

← 去年の10月からは、東灘区役所依頼の仕事で、東灘区地域を紹介する冊子づくりに取り組んでいます。冊子作りは、コンセプトをつくることから始め、実際にページ構成を考え、具体的な原稿づくりやデザインまで自分たちで行います。最初は考えた企画がダメ出しされ、次はデザイン面でNG。いま、ようやく次のステップに進み始めたところですが、経験の少ない私たちの仕事はなかなか前に進みませ

「地域を元気にしたい」  
同じ想いの下に集まって  
いることが自分たちの強み

ん。だからこそ、ここでもみんなをどうまとめ、モチベーションを維持していくかが重要です。  
今回は以前の苦い経験を活かし、とにかく仲間同士で作業の進捗状況を報告し合つて必要があればサポートしたり、うまくいかない部分を一緒に考えるなど、連携を密にするように意識しています。確かに私たちにノウハウがあまりありませんが、もともとお金もうけが狙いではなく、地域を元気にしていきたいという思いで結びついている仲間なので、しっかり結びつけばきっと強い力が出るはず。そのパワーで実際にいろんな課題をクリアし、この街をもっと元気に、賑やかにしていきたいです。

← 一度は大きな失敗も  
プレッシャーがキツ過ぎて  
多くの仲間が去っていった

でも、仲間同士で一緒に仕事を進めていくというのは大変です。もちろんみんな学生だからプロじゃないけれど、仕事として任される以上は中途半端なことをするわけにはいかない。そのプレッシャーに対し、どう立ち向かっていくか、僕の立場からすればみんなの気持ちをどう立ち向かわせていくかも重要です。  
一度は大きな失敗をしたこともありましたが、それは甲南本通商店街の夏祭りイベント企画を

請け負ったときのこと。私たちのキャパシティからすれば、大きな仕事だったのですが、ステージ企画からフリーマーケットの参加者募集・運営、模擬店の統括、設営材の搬入・広報まで、あらゆる仕事を私が「できます」と言い切ってしまったんです。後から無理でしたとは言えないので、必死になって取り組んだのですが、あまりにキツすぎてメンバーから離れていく仲間が次々に出たんです。もともとキャパシティを見極めてジャッジしなければならなかったし、ツライ仕事に取り組むとき、モチベーションが維持できるようにもっと工夫しなければならなかったと反省しています。



東灘区パンフレット制作では、職員の方を交えたミーティングが続く

### あなたもKRMIに 参加しませんか。

KRMIは、学生が経営する「まちの総合商社」としてジャンルを超えたネットワークを武器に、多様化する地域のニーズに応える団体を目指しています。そんなKRMIではいま、次世代を担う人材を募集中。また、地域活性化に関するご相談も受け付けています。

詳しくは

<http://www.krmi.jp/>

2005年			2004年			
3月	1月	12月	11月	10月	7月	6月
震災10年 神戸からの 発信事務局	東灘 区役所	東灘 区役所	甲南本通 商店街	甲南本通 商店街	三宮 センター街 東通商店街	甲南本通 商店街
震災10年 「みんなの元気は東灘から」	魚つ子ひろば	魚つ子ひろば	クリスマスフェスタ	秋の文化祭	神戸観光の日三宮パカス祭	父の日バーナイイベント

### KRMI 活動白書

発足して約1年。すでにさまざまな地域の活動を企画・運営してきた伊達さんたちの活動を報告します。

# この街に、 元気な声を 増やしてやろう!

甲南地域経営研究所 代表  
経営学部経営学科  
4年次 伊達 康一さん

### 【甲南地域経営研究所 (KRMI)】とは?

まちづくりのための地域イベントなどを企画・運営する学生組織として、2004年より発足。メンバーは甲南大生だけでなく、他大学生にも及び、現在は10数名が同じ志の下で活動している。

## FILE 03

あらゆる地域の活動を支え、コミュニケーションを生み出す

## 甲南地域経営研究所

Konan Region Managerial Institute



「甲南から始まる地域の元気」を合言葉に、平成16年5月23日に設立。

← コミュニティビジネスに  
関心のある仲間を集め、  
まちづくり会社を設立

私たちが運営している「甲南地域経営研究所 (KRMI)」は、研究所と言っても、調査するだけの学術的な組織ではありません。地域の方と組んで、商店街のイベントなどを企画・運営したり、あるいは区役所からの依頼でパンフレットの制作などに取り組んだり。実際に地域活性化のためのあらゆる仕事を請け負う、いわばまちづくり会社なんです。こんな組織をつくったのは、自分の住んでいる地域がもっと元

気になるために、何か私にできることはないかと前から考えていたからです。それまで私は経営学部のメンバー中心で構成されていた「起業家研究会」に所属していましたが、このプランを実現するには、大学内だけのネットワークではなく、もっと広く呼びかけて、専門知識や技術を持つ仲間同士のチームをつくりたいかなければと思い、自分が中心になって組織することを決意しました。そして新たに「甲南地域経営研究所」を発足することになりました。いまは関西学院大や大阪大、大阪外国語大、京都工芸繊維大などから、まちづくりに関心を持つ仲間を集め、甲南本通商店街、三宮センター街東通商店街を中心に活動しています。



## 誌面作りに対する ご意見・ご感想

●ただ漠然と海外へ行きたくて留学する学生が多い中、前回「TRY with KONAN」で紹介されたお二人がしっかりと自分の考えを持ち、目標を見つけておられたことを嬉しく思いました。今後、社会で大いに活躍されることを楽しみにしています。(女)

●前回の研究室訪問の内容がとてもタイムリーで良かった。これまで知らなかった「不作為」という罪について、考えるきっかけになりました。(47年卒・女)

●卒業しても母校の先生方がどのようにされているのか気になります。ぜひ前回の特捜部で取り上げられていた「恩師のいま」を独立したコーナーにして連載してほしいです。(03年卒・男)

●「クラブつながりリレーション」を読んで、クラブにも入らず、ひたすらバイトと授業だけの学生時代をいま、大いに悔やんでいます。こんなにたのしいクラブ活動があったなんて!!(83年卒・女)

●「IT'S KONAN STYLE」を読んで、身近な場所に甲南大学を卒業し、活躍している人がいるのだと知って嬉しくなりました。自分も甲南大学で学んだことを誇りに、頑張ろうと思います。(92年卒・男)

●学生がどのように自分の研究を進めているのか知りたいので、卒業論文について特集した記事を読んでみたいです。時代を反映して、やはり研究内容も自分が在籍していた頃とは変わってきているのでしょうか。(男)

●卒業してまだ4年ですが、自分が実際に働くようになって、職業観というのも少し変わってきました。いま甲南大学で学んでいる学生たちが、どのような職業観を持っているのか知りたいです。(03年卒・男)

## あなたの声で、このページを つくりませんか？

「こちら甲南特捜部」は、皆さまのお便りをもとに構成するページです。日頃から甲南大学に対して感じていた疑問を、どしどしお寄せください。また、誌面作りに対するご意見・ご感想もお待ちしております。



化のあるランチも必要でした。メニューが絞れないのなら、作り置きしてパートさんの手間を減らすことが必要ですが、一方で以前から目の前で鉄板を焼くイタリアンやハンバーグなど手間のかかるランチが人気でこれを外すわけにもいかなかったのです。

そうした条件をクリアしつつ、何とか1万人規模の学生にに応えたいと考えて生まれたのが、現在のスクランブルライン、ストリートライン併用という厨房のアイデアです。要は頼まれてからつくり始めるメニューとある程度作り置きしておいて、サッと出せるメニューを厨房内で大きく二つに分け、これらを組み合わせることで学生の望むおいしい料理が大渋滞を起さずに提供できるようになりました。食べる側の学生には見えないかもしれませんが、厨房の中にはかつてなかったこんな工夫がされているわけです。また、座席の数を増やせないという物理的な課題に対しては、好きな場所に持っていくって食べられるお弁当に力を入れることで何とかクリア。焼きたてパンを提供するベーカリーも備えています。味についても甲南生に満足してもらえるレベルを実現できるように努力しています。卒業生の方も、大学を訪れる機会がありましたら、一度お立ち寄りいただければ幸いです。



### カフェパンセ

かつて学生食堂の一部だった喫茶パンセが、オシャレで美味しいカフェパンセとして2003年5号館に復活。

Now  
2005



¥310

人気  
メニュー

おいしさ・ボリューム  
ともに大満足の  
天津飯が人気No.1



### リサイクル促進

弁当容器を返すと10円返金する制度など、いまは栄養だけでなく、リサイクル活動も重要なポイント

ハガキで寄せられた疑問を徹底調査

## こちら甲南特捜部



### 今回の 調査依頼

いまの生協食堂は  
昔とどんなふう  
に  
変わりましたか

卒業された方の中には、毎日通った場所だけに食堂が懐かしいという人も少なくないようです。いまの食堂がどんなふうになったのか知りたいというお便りもいただきました。そこで今回は、食堂の変化について調査! 見た目だけでなく、どんな部分が以前と変わっているのでしょうか。



お答え  
するのは  
この人

生活協同組合  
専務理事  
隅田 幸博さん

1万人規模に増えた学生に  
満足してもらえよう  
厨房の仕組みから変わりました。

20 years ago  
1985

頼んだら目の前で  
焼いてもらえる  
鉄板メニューが人気

人気  
メニュー

'75年頃の生協  
食堂前の様子。  
奥に喫茶パンセ  
が見えている



当時、画期的な試み  
だったベーカリーは、  
'88年頃からオープン

「兵庫の生協のあゆみ」  
(1992年発行)より

セット価格  
¥450







機関誌「えくめね」



▲ 20周年記念OB総会（1982年）



▲ 2005年4月3日の練習風景



▲ 第一回兵庫県剣道学生連盟大会優勝(1975年)

先輩、後輩という壁を超え、  
連綿と結ぶ“縦之会魂”

旧制甲南高等学校にあった剣道部はすんなりと新制大学に受け継がれたのではない。大学剣道部の創部は、53年。GHQによる剣道禁止令が解かれ、松野さんら数名が同好会を立ち上げた。「とはいえ、私は体育の授業で習った程度一緒に立ち上げた竹越君が経験者として率先したが、9人の素人集団でした」と振り返る。

おまけに戦後の物資のない時代、面も小手も胴着も不足。先輩の道具を借り、校庭で素足で素振り、学校の教室の机を片付けて稽古と苦勞の多い草創期だった。しかしその後、苦勞の鬱憤を晴らすのがとく、竹越さんが兵庫県大会個人優勝を果たすなど素晴らしい戦績を上げる。甲南剣道部は一気に名を馳せた。

勢いに乗る、60年代初頭、関西大会で優勝。全日本学生で上位に進出と、部は黄金期に突入する。全日本学生選抜でアメリカにも派遣された主将の白井さんに憧れて入部したという、<sup>63</sup>卒の中井さんは、当時まったくの初心者。「しかしみんなに負けじと頑張ったおかげで、卒業までに4段を取れた。部初参加の西日本大会で団体優勝するなど、とにかく勢いがあつた」。強い甲南、だからこそ負けられなかったというのは、75卒の安井さんだ。「OBの指導もアツイ。稽古の量も相当なものでした」。とくに思い出深いのは合宿。「甲南の中・高校生と大学生が年齢に関係なく班分け、一同寝食を共にし、稽古をする。同じ剣道を愛するもの同士、年代を超えて心がつになれる。一貫教育の素晴らしさを感じました」。74年から80年代は菅沼さんや井上さん、伊藤さんが活動した。「自分なりに頑張りを抜いたことは、社会に出てからも頑張

れる自信となりました」と菅沼さん。彼は現在女子剣道部の監督になり「指導という形で感謝の気持ちをお返ししています」という。井上さんは「僕らの時代に大先輩である中井さんが監督に就任され、甲南剣道で繋がった年代を超えた関係は宝ものになる」と後輩にエールを送った。伊藤さんは「選手にはなれなかったが、大学から始めた剣道で、自分がどこまでできるのかトライする気持ちを学びました」。

て50名という大所帯に。「人数が多くなっても、胴着を脱げば先輩・後輩関係なく、和気あいあいとしていました」。2005年卒業の奥村さんも「卒業後も気軽に稽古に通える居心地のよい部。大先輩と現役学生が剣を交えられることは素晴らしい」と甲南剣道部に代々続くOB・現役生のファミリーな関係を話してくれた。

こ数年は実力発揮できない剣道部。主将の杉原さんたち現役生は「今年こそ全日本へ出て先輩方のサポートに恩返ししたい」と語り、女子部の山田さんたちも「卒業してからも後輩を指導したい」と剣道部の伝統を受け継ぐ使命を大切にしている。それを聞いた創部者の松野さんは「我が剣道部には、年代に関係なく和気あいあいと交えることができるようにと70年前に作られたＯＢ会“縦之会”があります。後輩は先輩の胸を借り、先輩は後輩にものを教える喜びを学ぶ、その伝統が連綿と繋がっていることに感動」と大いになぜいた。学園創立者平生鈆三郎先生の大切にした「スポーツマンシップ」がここの剣道部にも生き生きと受け継がれている。

人文地理学研究会の主な活動は、日本各地に出掛けてフィールドワークを行い、現地の暮らしや文化、環境などを調査すること。場合によっては村づくりや町おこしの提案も行う。こう表現すると学術調査一辺倒のようにも思えるが、設立当時から変わらぬ活動の基本は、“自分たちの足で歩いて”地域を観察し、生活を共にしながら調査するという、一人ひとりの感性とふれあいを重視したもの。ひたすら歩いて地形を確認したり、通りがかった人や古老を尋ね、お話を伺うという地道な活動に支えられている。

初代会長の前川公一さんの呼びかけで人文地理学研究会が発足したが、62年。翌63年には、兵庫県東条島群島で記念すべき最初の調査が実施された。当初は、見聞を広めたいという学生らしい知識欲が先に立っていたが、63年に機関誌『えくめね』を発行するようになると、自然にもう一歩つこんだ活動をしようという雰囲気が生まれてきた。草創期の部員の一人、69卒の岡本さんは「現在の基礎ができあがったのは、66年の徳島県祖谷地方の頃」だったという。「生活」「歴史」「産業」などの班に分かれて調査を行うスタイルや大学祭で地形の模型を使って調査結果を発表する形式もこの頃に始まっている。

ちなみに、機関誌名の「えくめね」はドイツ語で“人が住める土地”のこと。のちにＯＢ会（78年に「エクメネ会」に改称）の機関誌名として採用される「アネクメネ」は、反対語で“人の住んでいない土地”を表す。現役と、それを補おうとするＯＢ会の交流が感じられるネーミングだ。

活気のある活動やわきあいとした雰囲気  
に魅かれるように、発足当時23名だった部員は  
'66年には42名に、10周年を迎える'72年には77名  
に達し、'75年には部に昇格する。部員の増加は、

活動の充実度を増した半面、宿泊地の確保など、役員の負担増をもたらした。役員は春に先乗りし、宿泊先や取材先を探し回り、夏の本合宿に備えた。民家に泊まることができた最後にあたる時代だった。78年卒の阿部さんは、「家の人たちと一緒に起き、お弁当を作っていたいて、昼は調査で歩き回り、夜はミーティング。生活を共にしながら調査しました」と当時を振り返る。

80年代に入ると各地で民宿や国民宿舎が作られ、生活を共にしながらの調査は難しくなった。テーマも「過疎」から「村おこし」へと変わっていった。90年代は、調査地のほとんどが「町」に変わっていった時期で、会って話を聞くために電話予約が常態となった。部員数も減少しはじめ、OB会「エクメネ会」が現役学生の活動資金援助を行った。

その後、部員数は再び増えたが、阪神淡路大震災による調査中止の危機や社会変化による町の人々の外部者への不信任感など、調査を難しくする出来事が起きた。しかし、これらのほかにも市町村の合併という大きな変動が起こりつつあった。<sup>01</sup>年には二定の人口、歩いて回れる面積という条件に合致する市町村が300カ所あったが、<sup>04</sup>年には30カ所に激減したのだ。こうした新たな課題に対応して、現役学生は先輩が積み上げてきた活動スタイルを受け継ぎながら、新たな調査スタイルを模索しはじめた。そんな中、<sup>02</sup>年度山口県大島町、大阪府千早赤阪村での調査が評価され、人文地理学研究会は甲南大学文化賞を受賞した。

こうした評価と、「エクメネ会」のバックアップの追い風を受け、現役学生は今年、山梨県の中道村で調査を行う。今年の大学祭での発表と機関誌「えくめね」が楽しみだ。

日本の町や村をフィールドワーク  
「人と土地の関係」を肌で確かめる

11～15年	平成1～10年	61～63年	51～60年	41～50年	昭和28～40年	
ベスト 16 1回	ベスト 16 2回	ベスト 16 1回	7 回出場	4 回出場 ベスト 16 1回	ベスト 8 4回	(全日本団体)
	7 回出場 準優勝 1回	3 回出場	8 回出場 ベスト 8 1回	2 回出場 3位 1回	3 回出場 優勝 1回 3位 1回 ベスト 8 1回	(全日本個人)
準優勝 1回	ベスト 16 5回 ベスト 8 2回 3位 1回	ベスト 8 1回 ベスト 16 1回	ベスト 8 1回 ベスト 16 8回	ベスト 8 3回 ベスト 16 1回	優勝 1回 準優勝 2回 3位 3回 ベスト 8 3回	(全関西団体)

創部	1924年
【部員数】	22人（2005年4月現在）
【主な実績】	
1924	創部
1925	初の寒稽古
1926	大学武道場落成・道場開き
1934	O B 会・縦之会発足
1946	G H Q 武道禁止令により活動停止
1947	一部部員体操班を組織するのちの体操部となる
1951	甲南中学高校剣道同好会設立
1953	学生会にて大学剣道部承認・復学
	第1回関西学生剣道大会出場、第2回全日本学生剣道大会出場、中学高校同好会が剣道部に昇格、第4回兵庫県高校剣道大会優勝
1957	白井教雅が全日本学生剣道選手権大会優勝、同先輩日米親善学生剣道使節団として参加
1959	本山野野君に大学道場落成
1963	芦屋朝日ヶ丘に中学・高校移転ともにい剣道場落成
1986	六甲アイランド道場落成
1994	創部七十周年記念誌発行
2004	創部八十周年・記念誌発行

取材に出席された方／松野能和さん(57経卒)  
中井靖治さん(63経卒)、安井洋さん(75経卒)  
菅沼満寛さん(78営卒)、井上林さん(78理卒)  
伊藤博通さん(81営卒)、森本俊也さん(85経  
卒)、奥村康宏さん(85法卒)、学生 奥山将志  
さん(84経4)、應地紀宏さん(法4)、杉原淳平  
さん(経4)、山田真智子さん(文4)、常峰彰加  
さん(法4)、原知英さん(法4)

	創部	1962年	
	【部員数】	14人（2005年3月現在）	
	【主な実績】		
1962	創部		
1963	家島群島で初の地域調査実施		
1965	合掌造り集落の飛騨白川郷を調査		
1966	平家落人集落の祖谷地方を調査		
1967	木地師発祥地の永源寺地域を調査		
1968	ポーランド科学アカデミー所長 迎へ地理学講演会主催		
1971	奈良東大塔村、滋賀県余呉村、 京都府京兆町の三町村の過疎問題 兵庫県地理学会協定会に於て発表		
1972	十周年記念誌発行、初の漁村調 査（愛媛県由良半島）		
1975	関西学生地域調査協議会発足		
1976	北海道地方調査開始（長野県坂井村）		
1977	東海地方調査開始（岐阜県黒瀬村）		
1978	山陽地方調査開始（山口県本郷村）		
1978	十五周年記念行事実施、ＯＢ会 「クマケ会」と改称し活動を拡		
1979	山陰地方調査開始（鳥根県八雲村）		
1981	北四国の調査開始（愛媛県新宮村）		
1982	二十周年記念誌発行		
1985	北陸地方調査開始（石川県奥越村）		
1986	五箇山地方を調査（富山県平村）		
1988	離島の調査開始（島根県都万村）		
1989	南四国の調査開始（高知県土佐山村）		
1991	二十年余にわたった山村過疎テ		
1992	マの最後の調査（鳥取県上郷村）		
1995	地域のゆれと急変現象・多様化、本四		
1997	格構にゆれる急変現象・三島町を調査		
1999	豪雪と闘う新潟県中郷村を調査		
1999	高齢化の進む岐阜県洞戸村を調査		
1999	人口減の続く（鳥根県西郷町を調査		
1999	水軍で知られる周防大島（故村）		
2000	先生の出身地（山口県熊鷹町を調査		
2002	砂丘と歩む静岡県御前崎町を調査		
2003	四十周年記念誌発行、'02年度		
2004	南大学文化賞を受賞		
	合併間近の三重県香良洲町を調査		
	平成の大合併、多くの調査地が		
	併問題に直面、地域研究活動の		
	要性が増大		
	取材に出席された方／岡本弘さん（'69卒）、 中山隆司さん（'74卒）、人見辰也さん（'75法 卒）、西尾良次さん（'75営卒）、山本幸二さん （'75営卒）、阿部裕子さん（'78卒）、平山初樹 さん（'81営卒）、足立智広さん（'92経卒）、仁科 雅文さん（'93経卒）、堀越雄郎さん（'95理卒）、 植野剛さん（'97文卒）、信本麻美さん（'01法卒） 広瀬直子さん（'02文卒）、竹地史織さん（'02理 卒）、学生：籠谷佳奈さん（文3）、藤井智子さ ん（経3）、小山瞳さん（法3）		



海外提携校クラブ交流

ニュージーランド高校生と  
ゴルフ部生が現地で熱戦！

2004年4月より新たに姉妹校提携を結んだニュージーランド・クライストチャーチの高校、クライストカレッジに、この度、ゴルフ部の生徒たち21名が親善大使として訪問。現地でも盛んなゴルフで交流を図りました。クライストカレッジのゴルフ部では、プロを目指す生徒もいるといいますが、その交流は果たしてどんな様子だったのでしょうか。今回は現地を訪れたゴルフ部生たちに直接語ってもらいました。



一緒にコースを回りながら、現地高校生と会話が弾む。



クライストカレッジの日本語の授業にも参加しました。

今回のゴルフ交流の話、最初に聞いたとき、どんなふうに思いましたか。

安田能拓君（以下安田）／僕はニュージーランドでゴルフができるなんて、ラッキーと思いました。

高谷大介君（以下高谷）／僕は逆。向こうの生徒はレベルが高いと聞いていたし、英語もうまくないのでかなり緊張しました。

実際一緒にラウンドしてみても、レベルの違いはどうだったのですか。

高谷／レベルは結構バラバラでした。うまい生徒はプロを目指しているだけあって、相当うまい。体格もいいし、僕らと違って年中ゴルフをしているから技術も磨かれていると思いました。安田／ただ平均してみれば、そこそこ勝負になる感じ。3回ほどコースを一緒に回りましたが、お互いに面白いゲームだったと思います。

ラウンド中は、どんなことを話すのですか。安田／最初はゴルフのことばかりでしたが、だんだん日本の友だちのように普段のことを話すようになりました。ゴルフという共通項があるだけにうち解けやすかったです。

高谷／僕の拙い英語を一生懸命聞いてくれたのには感激しました。言葉はあまりわからないけれど、そういう気持ちは伝わってきます。

高谷 大介君  
甲南高等学校3年

安田 能拓君  
甲南高等学校3年



クライストカレッジはこんな学校

1850年創立。英国国協会系（キリスト系）の私立男子校としてニュージーランドを代表する伝統的名門校。生徒数630名。

場所はクライストチャーチ市の中心

南島東海岸クライストチャーチ市の中心部には大聖堂が。それを取り囲むように歴史的な町並みが続き、学舎もその一角をなしています。

クライストカレッジの高校生たちと記念撮影



フランスならではの研修旅行  
ひと味違う、豊かな体験

フランスという立地条件を最大限に生かし、本校の研修旅行は日本の学校とはひと味違う、豊かな内容となっています。今回は昨年度の様子を、生徒の感想を交えながら学年ごとに紹介します。

8日間のイギリス語学研修  
中等部3年生（3月4日～11日）

本校では、フランス語はもちろんのことですが、「使える英語」に重点を置き、英語教育にも力を注いでいます。目と鼻の先のイギリスで、中等部の英語教育仕上げるの意味で、毎年ロンドンの見学と併せ、英語の先生の家庭にホームステイしながら英語漬けになるのがこの研修の目的です。

●C3 加藤優一

初めての英国でのホームステイで心の準備がほとんどできていなく、最初はかなり緊張しましたが、ステイ先の家族はとても優しく、その子供と遊んだり自由時間も有効に過ごすことができて、たくさんいい思い出ができました。



ダイアナ妃の葬式で有名なセントポール教会の前で

本場アルプスで1週間スキー  
中等部2年生・高等部1年生（3月5日～11日）

スキー教室はパウダースノーの舞う本場アルプス（Aipe d'Huez）で1週間行われます。フランスの国家検定を持つ有能なコーチから、レベル別的小グループで

みづちりスキー技術を習います。上級者は3300メートルの山頂から滑り降りる、ヨーロッパ最長コース（16km）にも挑戦できます。

●C2 飯田充

僕は生まれて初めてのスキーを、まさかこのフランスのアルプスですとは思っていませんでした。最初は靴が合わなかったり転んだり「スキーは嫌だ」と思いましたが、後半は楽しくなり、もう少しでクラスが上がりそうになるまで上達でき、満足しています。



この雄大な景色はアルプスならではの

イタリア6日間の旅  
高等部2年生（3月6日～11日）

高等部の修学旅行の行き先は、学年団が生徒の意見を聞きながら決定します。やはり人気はイタリア・スペイン。今年もイタリアへ行き、ヴェネツィア・フィレンツェ・ローマの各都市を回ってきました。

●L2 山本奈央子

ヴェネツィアではゴンドラに乗り（ちゃんと値切りました）、ヴェネツィアングラスを眺め、フィレンツェではドゥオモのクーポラに登り（400段の階段）一生忘れられない景色を眺め、ローマではトレヴィの泉やコロッセオを訪れました。本物に触れることでしか味わえない感動を、いやという程満喫しました。もう1週間間いたかったです。



ローマのコロッセオ。歴史の重みを感じます

南仏4日間の旅  
中等部1年生（3月8日～11日）

最年少の中1生は、南仏の雰囲気味わいに4日間の小旅行を行います。今年は、アヴィニョン・ニーム・アルルを中心に、周辺のローマ時代の遺跡やゴッホに縁の景勝地などを訪れました。

●C1 新在家実佳

南仏の旅では色々有名な場所を訪ねることができました。その中で印象に残ったのは、サン・レミ・ドゥ・プロバンスのゴッホの作品群にちなんだ遊歩道でした。私はその散歩道を歩きながら、ゴッホはどんな気持ちで絵を描いたのだらうと思いました。



歌でも知られるアヴィニョン橋の前で

ジュネーブで国際機関を見学  
高等部3年生（2月17日～19日）



ジュネーブ、オリンピック・ミニシアターの聖火の前で

他学年の研修旅行週間に先立ち、卒業を控えた高3生は2泊3日でスイスのジュネーブへ国際組織の本部などの見学に行きました。フランスでの学校生活の締めくくりに、ヨーロッパの政治・経済の拠点を訪れ、国際人としての自覚をいっそう高めたことでしょう。

●L3 田島一慧

限られた時間の中で私たちは、レマン湖、花時計、宗教改革記念碑、赤十字本部、オリンピック・ミニシアムや、入ることが難しい国際連合のヨーロッパ本部などを見学することができました。ジュネーブはフランス語が通じるので、買い物も楽でした。スケジュールが過密でしたが、よい経験、よい思い出になりました。



第一線で活躍する卒業生に、甲南時代の思い出や活躍の秘訣をおうかがいするこのコーナー。  
今回は、国立民族学博物館にお勤めの石森さんをインタビュー。  
いまの自分をつくってきた甲南の校風について語っていただきました。

## 「未来のため、過去に目を向けよ」 マオリの言葉は、甲南に通じる。

石森 秀三さん 1968年経済学部卒業



**PROFILE** ◆1968年に甲南大学経済学部を卒業後、ニュージーランドのオークランド大学へ留学。帰国後、京都大学人文科学研究所研究員。1975年より、国立民族学博物館に勤務。現在は同館教授・文化資源研究センター長。総合研究大学院大学教授（併任）。オセアニア各地で調査に従事し、現在は観光文明学、文化開発論専攻。2003年に首相官邸で行われた観光立国懇談会委員、文化審議会専門委員などを歴任。

**私** が甲南に入学したのは、ちょうど東京オリンピックの開催された1964年。日本中の目が世界に向いているときでした。私自身、それですっかり「これからは世界を学ばなければ」と、ガッツと気分が高じましてね笑。大学生活、そしてそれからの半生を民族研究に費やしてきました。

しかし、ふり返ってみると甲南大学でなければ自分がこれほどまで研究に夢中になれたかどうか。というのも、甲南には好きなことを好きなだけさせてもらえるという懐の深さがありました。例えば、クラブ活動がそう。入学した当時、甲南のクラブの中には私のしたいことと合うものがなく、自分でクラブを設立するしかなかったのです。甲南生だった兄は「1年生がクラブを創るなんて無理だろう」と言いましたが、学生部に相談してみるとそんな規制はなく、意外とカンタンに設立できたんですよ（笑）。それが「国際民俗研究会（現 民俗研究会）」。「ここから私は民族研究に興味を持ちました。また、先生方も私の意思をとて尊重してくださいました。所属していた経済学部のゼミ教授、大畑文七先生は「経済より、文化人類学に興味があるんです」と打ち明けたところ、難色を示すどころか大いに賛成してくだ



さり、「それなら非文明社会の経済をやりたい」と励ましてくださいました。文学部の米山俊直助教授に至っては、他学部の私をゼミに入れてくださっただけでなく、ご自身が所属されていた研究者同士の研究会にも入会させてくださいました。プロの研究者たちの研究会はハイレベルでもついていたけれど、参加するたびに落ち込んでいましたが、この貴重な体験のおかげでいまの私があると感じています。結局、卒業時に、両学部卒論を提出しました。

卒業後、私はクラブの後輩だった妻とニュージーランドへ渡り、オークランド大学で2年間留学。先住民マオリについて研究しました。その後、国立民族学博物館に勤務。最近では観光についても研究しています。甲南でつねに型を破りながら研究してきたせいか、いまも新たな仕組みを生み出す方が性に合いますね。「文化資源研究センター」の立ち上げや他大学の観光関連学科の新設でも中心的役割を果たしました。

母校には、私を育ててくれたあのリベラルな学風をずっと失わずにいてもらいたい。「未来のため、過去に目を向けよ」。マオリのことわざにもあるように、古き良き伝統から、きつと次の素晴らしい甲南が生まれると信じています。

### 石森さんの 甲友録

杉藤 重信さん  
'74年 文学部卒業  
'76年 大学院（応用社会学）  
修士課程修了  
福山女学園大学教授

八木 祐子さん  
'84年 大学院（応用社会学）  
修士課程修了  
宮城学院女子大学助教授

窪田 幸子さん  
'84年 大学院（応用社会学）  
修士課程修了  
広島大学助教授

前田 弘さん  
'85年 理学院卒業  
'88年 大学院（応用社会学）  
修士課程修了  
阪南大学教授

## 甲南フォーラム KONAN FORUM ダイジェスト

### 2004年度卒業証書・ 学位記授与式

3月25日、講堂兼体育館で、卒業証書・学位記授与式が行われました。今年は、学部学生2092名、大学院生105名が卒業、修了しました。杉村芳美学長の式辞、池上吉藏理事長の祝辞、そして自治会中央委員会藤野健次委員長の送辞のあと、経営学部の長谷川貴之さんが答辞を述べました。



また、今年度から、自治会活動・スポーツ・文化活動などの正課以外の学生生活において顕著な活動を収め、大学の名誉を高めた学生に卒業式で学長表彰を行うことになり、次の学生が賞状を授与されました。

- 堀 由奈さん（理工学部：自治会中央委員会委員長として自治会活動を活性化した。）
- 羽田 奈緒子さん（文学部）：大学在学中に念願の小説家デビューを果たした。
- 吉田 泰典さん（経営学部）：体育会ゴルフ部に所属し、個人優勝、日本アマベスト8など、顕著な活動を行った。

●福山 茜さん（経営学部）：体育会陸上競技部に所属し、女子走り高跳びにおいて、各種学生選手権で優勝など、顕著な活動を行った。



学長表彰を授与される堀 由奈さん

なお、甲南高等学校は2月18日、トゥーレース甲南学園高等部は3月1日に卒業式を行いました。

### 2005年度入学宣誓式

4月1日、講堂兼体育館で、入学宣誓式が行われました。今年は、学部学生2349名、大学院生110名、法科大学院生63名、編入生14名が入学しました。まず、杉村芳美学長の式辞、池上吉藏理事長の祝辞に続いて、大学院を代表して社会科学部研究科経営学専攻の松金光美さんが、法科大学院を代表して秋山宜道さんが、学部を代表して法学部法学科の出原孝さんが、それぞれ入学を宣誓。そのあと、交響楽団の演奏



### 4氏に名誉教授の 称号を授与

に合わせてグリークラブと女声合唱団アモロゾがリードして学園歌を斉唱し、式を終えました。  
甲南中学校およびトゥーレース甲南学園は4月8日に入学式を行いました。

2005年3月31日付けで退職された八亀勝氏（元文学部教授）、堀口至朗氏（元理工学部教授）、小林清晃氏（元経済学部教授）、白杉剛氏（元経済学部教授）に、甲南大学名誉教授の称号が授与されることとなり、4月9日に授与式が行われました。

### 体育会祝勝会・ 文化会顕彰会および 父母の会課外活動表彰式

文化、スポーツ、ボランティア活動などですぐれた業績を挙げた学生や学内団体に贈る、学生部長特別表彰「8団体・1個人」と父母の会・課外活動表彰（金甲賞）「3団体・2個人」が次のとおり決定しました。授賞式は2月18日、学生会館バンケットルームで行われ、青木浩治学生部長および黄田漢祥父母の会会長から、賞状と助成金が贈られました。

#### 金 甲 賞

- 体育会ゴルフ部  
吉田 泰典さん（経営学部4年）
- 体育会バスケットボール部  
川辺 泰三さん（法学部4年）
- 体育会準硬式野球部
- 体育会陸上競技部（女子）
- 文化会開基将棋部
- 学生部長 特別 表彰
- 体育会ライフル射撃部
- 体育会ヨット部



金甲賞表彰

- 体育会釣クラブ
- 体育会馬術部
- 野島 梓さん（法学部1年）
- 体育会弓道部
- 体育会ボートセイリング部
- 文化会女声合唱団アモロゾ
- 文化会書道部甲墨会
- 文化会歌舞伎文楽研究部

### 「甲南大学 知の散歩」が 神戸新聞広告賞を受賞

神戸新聞連載の「甲南大学 知の散歩」が、新聞広告表現の質的向上と活性化および新時代を先取りした広告作りに寄与したとして、「平成16年度神戸新聞広告賞（広告主部門・銅賞）」を受賞しました。表彰式は、2月7日に行われ、表彰状・表彰盾・賞金が授与されました。

また、昨年11月25・26日に開催された日本新聞協会主催の「第91回新聞広告セミナー」において、全国約100社の新聞社の中から3作品が選ばれた『新領域の新聞広告』に当企画が見事選出され、全国各新聞社から多大な賞賛を浴びました。

なお、神戸新聞の「甲南大学 知の散歩」は、本学ホームページにおいても公開されています。



## タバコのマナーを守りましょう

甲南大学では、学生に守ってほしいマナーとして、喫煙について次のようにお願いしています。

- 学内は校舎内・校舎外を問わず原則的にすべて禁煙です。(現在、指定された喫煙区域のみ、喫煙が可能です)
- タバコのポイ捨て、歩行喫煙は絶対止めましょう。

しかし、学内外において、禁煙エリアでの喫煙・歩行喫煙・タバコのポイ捨てが目立ち、近隣住民からの苦情も絶えないことから、健康増進ならびに社会人としてのマナー育成のため、大学では次のとおり実施することになりました。



2005年4～8月は「分煙」(指定された場所でのみ喫煙可)を徹底するキャンペーンを実施。9月の後期授業開始から1カ月間、学内の灰皿全てを撤去します。2006年4月より、学内は完全禁煙とします。

## 清水美知子さんが 2004年度「今和次郎賞」を受賞



清水美知子(89) 年人文科学研究科 応用社会学専攻博士後期課程修了)さんの著書「**今和次郎の家庭文化史**」が、2004年度「今和次郎賞」(生活研究の振興を目的として、優秀な業績に対して毎年贈られる)を受賞されました。初めて出した単著での受賞は稀なことで、清水さんの今後の活躍が期待されます。なお、昨年10月の日本生活学会

大会で授賞式、今年1月に早稲田大学で授賞記念講演会が開催されました。

## 今後の予定

### 本誌をご覧の皆さまへ 「新平生鈞三郎のこぼれ」発行

本書は平生研究会が1975年に刊行の「平生のこぼれ」を見直し、新たに「新平生鈞三郎のこぼれ」として編集したものです。創立者平生先生は明治・大正・昭和の時代に財界・教育界・政界にわたって持てる才能を十二分に発揮し、世に貢献しました。平生先生のこぼれは人がこの世に「ある」ことの意味を問ひ、この世でいかに人として「あるべき」かを教示しています。



### 本誌をご覧の皆さまへ 第137回現代講座

【講演者】石原良純氏 俳優 気象予報士  
【テーマ】「これが私の生きる道」  
【日程】5月21日(土)  
【開場】12時30分  
【開演】13時  
【場所】甲友会館  
【入場料】無料  
【共催】甲南大学自治会中央委員会 現代講座実施委員会 甲南学園広報部



### 本誌をご覧の皆さまへ 「異文化理解への道」

【日程】7月23日(土) 9時30分～15時15分  
【場所】1号館4階142講義室  
【プログラム】  
● 1時限 柳原 初樹助教授(戦後60年

「日本とドイツの歴史教育比較」  
● 2時限 伊庭 緑助教授「国際語としての英語」  
● 3時限 シンジュ・ディエディエ助教授「フランス映画と現代フランス社会」  
● 4時限 金泰虎助教授「日本における韓国ドラマ・映画」

【対象】一般社会人(高校生以上)  
【定員】約300名  
【受講料】2,000円  
(消費税、配布資料費含む)

【申込締切】7月6日(水)から募集開始、定員になり次第締切

【問い合わせ先】国際言語文化センター事務局  
TEL 078-4351-2326

### 本誌をご覧の皆さまへ 国際言語文化センター 社会人講習会「言語講座」(後期)〈予定〉

【日程】9月24日～12月3日の毎週土曜日(全10回)※12月10日予備日  
【場所】6号館マルチメディア教室  
【プログラム】英会話、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語  
【対象】一般社会人および学生(高校生以上)  
【定員】各クラス約20名  
【受講料】英会話・ドイツ語・韓国語・フランス語入門／15,000円  
中国語／18,000円  
フランス語会話・中級・上級／25,000円  
※テキスト代は含みません。  
【申込締切】8月29日(月)から募集開始、定員になり次第締切  
【問い合わせ先】国際言語文化センター事務局  
TEL 078-4351-2326

### 本誌をご覧の皆さまへ バドミントン教室

楽しく、より深く、バドミントンを楽しんでいたために、技術の説明や、練習方法の紹介を行います。※技術レベルに応じてクラス分けを行います。

【定員】200名  
【対象】一般社会人(高校生以上)  
【申込締切】8月29日(月)～9月7日(水)  
定員になり次第締切  
【問い合わせ先】広報部  
TEL 078-4351-2314

### 卒業生の方々へ 弓道部創部50周年および 甲弓会設立45周年記念式典

【日程】8月13日(土) 12時～16時  
【場所】ホテル竹園芦屋「飛鳥の間」  
TEL 0797-311-2341  
※チャーターバス送迎で甲南大学弓道場の見学会も開催します。  
【問い合わせ先】甲弓会 幹事長 三戸啓光  
090-3351-1645

## 甲南高等学校・同窓会総会のご案内

もう一度振り返ろう高校時代

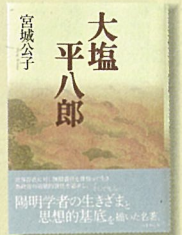
【日程】5月28日(土) 受付(午後12時～)  
【場所】甲南高等学校  
【会費】2,000円  
【内容】  
● 恩師による模擬授業(午後1時)  
● 校舎見学・震災復興10周年記念式典ビデオ上映(午後12時～2時)  
● 総会(午後2時)  
● 現役フラスアンサンブル部員による演奏会  
● 講演Ⅰ「甲南中高将来構想について」  
片山 勉氏(高校63年、大学67年卒業)  
甲南中学・高等学校を経て甲南大学経済学部卒業。現在紀伊産業(株)代表取締役社長、甲南学園常任理事・中高将来構想担当、甲南学園評議員。硬式庭球部に所属。



● 講演Ⅱ「甲南スポーツの飛躍に向けて」  
水野 正人氏(高校62年、大学66年卒業)  
甲南幼稚園・小学校・中学・高等学校を経て甲南大学経済学部卒業後、70年米国カーセージカレッジ理学部卒業。現在ミズノ(株)代表取締役社長、国際オリンピック委員会スポーツと環境委員、日本オリンピック委員会理事。04年藍綬褒章を受章。サッカー部に所属。  
● 懇親ビールパーティー(午後5時)  
※ご来場時のご注意/駐車場はございません。電車バスをご利用ください。  
※ご出席のお返事は甲南高等学校ホームページから5月より受付させていただきます。  
甲南高等学校ホームページ  
http://www.konan.ed.jp

## 新刊レビュー

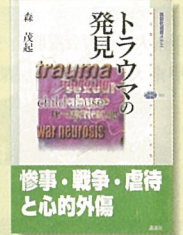
甲南大学の教員と卒業生が執筆した



大塩平八郎  
宮城公子[文学部教授]著  
ベリカン社 ¥2,940(税込)



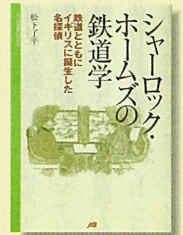
幕末期の思想と習俗  
宮城公子[文学部教授]著  
ベリカン社 ¥4,830(税込)



トラウマの発見  
森 茂起[文学部教授]著  
講談社 ¥1,575(税込)



埋葬と亡霊  
トラウマ概念の再吟味  
森 茂起[文学部教授]編  
人文書院 ¥2,625(税込)



シャーロック・ホームズの鉄道学  
鉄道とともにイギリスに誕生した名探偵  
松下了平[1960年理学部卒]著  
JTB ¥1,050(税込)



あっぱれ!コン助  
藤川智子[1985年文学部卒]著  
講談社 ¥1,575(税込)



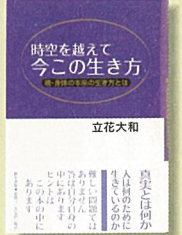
ユングのタイプ論  
フォン・フランツによる劣等機能/ヒルマンによる感情機能  
小山智朗[1999年人文科学研究科修了]訳  
M-L.フォン・フランツ、J.ヒルマン 著  
創元社 ¥2,940(税込)



おとぎ話のなかの救済  
深層心理学的観点から  
小山智朗[1999年人文科学研究科修了]、三木幸枝[2000年人文科学研究科修了]訳  
M-L.フォン・フランツ 著  
日本評論社 ¥2,100(税込)



小さな幸せをお探ですか。  
幸せの道標  
新井友晶[2004年理学部卒]著  
新風舎 ¥1,155(税込)



時空を越えて今この生き方  
魂・身体の本来的生き方とは  
立花大和[2005年文学部卒]著  
新生出版 ¥1,365(税込)

会計情報の特性と会計専門職業人の今日的役割、そうした役割期待に応え得る会計士の養成

本誌をご覧の皆さまへ  
秋期公開講座  
「会計情報と会計プロフェッションの使命」

【問い合わせ先】広報部  
TEL 078-4351-2314



岡本キャンパスに集合し、自分たちの手でつくる一年に一度の催し、「オール甲南の集い」。創立50周年を記念して2001年より始まったこのイベントも、すでに5回目を迎えました。卒業生、在校生、父母の皆さま、またそのご家族まで、甲友ファミリーが集い、仲間や先生との再会、現役各クラブのパフォーマンスなどを楽しむ恒例の催しとなっています。このオール甲南の集いを、今年は8月6日(土)に開催します。ますます充実の内容で開催してまいりますので、ご家族ご友人とお誘い合わせて参加し、甲友の絆を深めてください。

# PROGRAM

	期間・期限	前期分	後期分
特別猶予願	期 願 書 提 出 出 間	5 月 5 月 31 日 1 日 〆	10 月 10 月 31 日 1 日 〆
	猶予 期限	9 月 10 日	1 月 翌 10 日 年

注1/上記期限を超えての再猶予は認められません。

注2/上記の猶予期限内に学費を納入しない場合は、「除籍」になりますので、注意してください。

## EVENT SCHEDULE

**5月**

- 甲南キャン(3)〜5日
- 前期社会人講習会「言語講座」  
(4月30日〜7月2日)
- 春期公開講座(7日〜6月11日)
- 大学教育懇談会・父母の会総会(14日)
- 学館祭(16〜21日)
- 第137回現代講座(21日)
- 日本方言研究会公開シンポジウム(27日)

**6月**

- 文化会フレッシュマンハイキング(5日)
- カウンセリングセンター・学生相談室講演会  
(25日)

**7月**

- 体育会フレッシュマンキャン(2〜3日)
- 前期授業終了(15日)
- 前期試験(16日〜29日)

**8月**

- 夏期公開講座「パソコン教室」(23・24日)
- 夏期社会人講座(23日)
- 人間科学研究所公開シンポジウム(24日)
- 夏期休業(30日〜9月18日)
- 大学オープンキャンパス(31日)

**9月**

- 学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦  
第50回記念式典・祝賀会(5日)
- 前期末卒業証書・学位記授与式(16日)
- 後期授業開始(19日)
- 後期社会人講習会「言語講座」  
(24日・12月3日)

## キャリアセンターからのお知らせ

5月13日(金)	「悔いのない学生生活を送り、 より良き社会人になるために」 ……」 これから的心構えから企業 の見分け方まで」
5月16日(月)	なぜ簿記・パソコン・英語の勉 強は将来役に立つのか？ 簿記(30分) 「ビジネス資格のファーストス テップ」→簿記の知識で企業 を分析できる方法」 パソコン(30分) 情報化に必要なITスキルとは？ 仕事にどう活かせるのか？ 英語(30分) 英語の勉強は将来どのように 役に立つのか？
5月17日(火)	IT業界の求める人材像、 SEに必要とされるスキル ビジネスパーソンに必要な英 語→TOEICの必要性」
5月18日(水)	金融業界・銀行・信託銀行・証 券・保険業界の諸事情→主 な仕事の内容 求めている人材 スキルなど」

5月19日(木)	「大学生活から目指す法律資格！> 独立して先生と呼ばれよう!!」
5月26日(木)	「資格を取って、自分流ライフスタイルを演出してみませんか」 〜若手弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・税理士・公認会計士からの提案
6月1日(水)	公認会計士・税理士ってどんな仕事？(会計士編) 独立開業はできるの？収入はどれくらい？
6月3日(金)	公認会計士・税理士ってどんな仕事？(税理士編) 独立開業はできるの？収入はどれくらい？
6月7日(火)	旅行業界のウラ側教えます！ 〜旅行業界事情〜
6月10日(金)	貿易ビジネス早分かり!!> 貿易の仕組み
6月29日(水)	ビジネスマンに求められる1ツスキルとは？(タッチタイピング・WORD・EXCELは新三種の神器)

● 3 年 次 対 象	
5月30日(月)	自己分析講座
6月3日(金)	
6月6日(月)	キャリアアップローチ(適性検査)
7日(火)	
6月15日(水)	自己分析(ワーク)
22日(水)	
7月4日(月)	キャリアアップローチフォロー講座
5日(火)	
7月30日(土)	インターシッピングビジネスマナー
8月1日(月)	
9月21日(水)	第2回就職ガイダンス
9月27日(火)	
● 4 年 次 対 象	
5月20日(金)	合同企業セミナー in May
7月上旬	合同企業セミナー in July

※日程などについては変更することがあります。

## 個人情報保護について

業務に使用する本学園の学生、生徒、（以下あわせて「在学生」という。）は、在学生の保護者及び保証人これらに準ずる者（入学者志願者、卒業生等を含む。）の個人情報について、個人情報保護に関する法令等を遵守し、自主的なルール及び体制を確立し、次のとおろ個人情報保護方針を定め、これを実行し維持することを宣言いたします。

個人情報保護方針

この章程を定め、本学園教職員・学園と雇用関係にあるすべてのものをいひ、非専任教職員等を含む以下と同じ。その他関係者は周知徹底させて実行し、維持、改善しつゝまいります。②本学園は、個人情報情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等を防止するため「個人情報保護設計画」を立案し、適切な対策を講じます。③本学園は個人情報情報の入手にあたり、適法かつ公正な手段によって行ひ、不正な方法より入手しないことはもちろぬ。個人情報の主体である本人から利用目的等について同意をとるか本学園インターネットホームページに必要事項を告知します。④本学園は個人情報情報を間接的に入手する場合、入手する個人情報について提供者が本人から適正に入手したものであるかどうかを確認し、契約約手の手当てをし、本学園インターネットホームページに個人情報利用目的等の必要事項を告知します。⑤本学園は、情報主体（個人情報情報の本人）が自己の個人情報について、開示、訂正、使用停止等の権利を有していることを確認し、情報主体からのこれらの要求に対して応じます。⑥本学園は、個人情報情報を第三者と共同利用したり、業務を委託するために個人情報情報を第三者に預託する場合、当該第三者について調査し必要な契約を締結し、その他法令上必要な措置を講じます。⑦具体的な個人情報収集及び取扱ひのために次の原則を定めます。

P R E S E N T

貴志康一、  
幻の名作CDを  
抽選で進呈



貴志康一、幻の名作であるバレエ音楽「天の岩戸」を収録したCDを3名様にプレゼントします。ご希望の方は同封のアンケートハガキにてお申し込みください。応募締切は6月末日到着までとさせていただきます。

オルゴール、ラガールカード当選者発表

「甲南Today No.20プレゼント」にご応募いただき、ありがとうございます。たくさんのご応募をいただいたため、ラガールカードは5名から10名に、オルゴールは1名から2名に当選人数を変更させていただきますました。厳正なる抽選の結果、当選された皆さまを発表します。

オルゴール当選者

竹島智子さん(72卒)／脇本裕夫さん(父母

ラガールカード当選者

越知 勉さん(59卒)／川端潤一郎さん(74卒)  
是松邦夫さん(85卒)／笹本美一さん(86卒)  
田辺幸子さん(84卒)／西江 晋さん(98卒)  
松岡隆夫さん(75卒)／柳 敦子さん(02卒)  
頼田和子さん(76卒)／上向井賢一さん(父母

●前号の22ページに掲載いたしました甲南高等学校・中学校震災復興10周年記念講演会のご案内欄にて、鶴飼卓氏の卒業年度に誤りがありました。ここにお詫びし、訂正いたします  
誤 1961年 ↓ 正 1956年

◆次号は2005年9月発行予定

甲南Today NO. 21

発行日／2005年5月20日  
発行／甲南学園広報部  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8丁目9-1  
TEL (078) 431-4341 (代)  
印刷／大日本印刷株式会社